

会議記録書	
会議名	第37回草津市図書館協議会（委員発言・質問、事務局事業説明・回答要旨）
日時	令和5年2月20日(月) 10:30～12:00
場所	草津市立図書館 3階 大会議室
出席者	高山副会長、江竜委員、山崎委員、田中委員、内田委員、中瀬委員、新谷委員 事務局（二井館長、加藤副館長、大西副館長、齋藤主査）
傍聴者数	1名
記録作成者	図書館 齋藤

1. 開会挨拶（二井館長）

- ・今年度は南草津図書館（以下：南館）が20周年、来年度は草津市立図書館（以下：本館）が40周年ということで2か年に渡る周年事業を行う予定であることに加え、読書のまち推進事業として、読書環境の整備や読書活動の推進を更にすすめていきたいと考えている。本日はその計画をお伝えするので、委員の皆様には忌憚のない意見をお願いしたい。

《出席者紹介》

2. 議題

（1）令和4年度図書館利用者アンケートについて

【アンケート結果について】

- ・実施期間は令和5年の1月5日から1月31日までとした。
 - ・配布枚数は5,492枚、回収は522件だった。
 - ・回収率は9.5%で、昨年度（約15%）より下回った。
 - ・電子回答の割合がほぼ半数となり、昨年度と比較して増加傾向にある。
 - ・回答年代は50代がもっとも多く70代、60代と続いた。利用者層が反映されていると言える。市内高等学校に協力を願ったこともあり、10代の回答が少し増えた。
 - ・各質問項目の中で最も満足度が高いという結果が出たのは職員の対応であった。例年満足度が高く、職員も励みになっている。
 - ・満足度が最も低い結果となったのは、視聴覚資料の収集・貸出であった。こちらも例年と同様の結果である。未回答数も多い項目であり、回答者は視聴覚資料を普段から熱心に利用している一部利用者であり、求めるレベルも高いと分析している。詳しい分析、改善案は今後すすめていきたい。
 - ・南草津図書館20周年記念事業の総合評価も未回答率が高く、満足度は高くなかった項目である。ただし、記念事業として実施した講演等の参加者の満足度は高かったことや、絵本を中心とした児童書の更新について、貸出数が好調であることなどから、これらの事業が「20周年記念」であるという認知度が低かったのではないかと分析している。
- 本館の40周年記念事業では、この反省を生かし利用者への周知を考えていく。また、南館の20周年記念事業の成果をまとめ、改めて利用者に周知していく。

- ・自由記述意見については、これから詳しく回答と分析を行うが、多かった意見を紹介する。
 Web上で在架予約がしたい。(最も多かった意見)
 Webでの情報提供に関する意見(次いで多かった意見)
 →個人のWebサービスの利用ポータルを日常的に活用されている利用者からの、より高いレベルの要望が多く寄せられた結果と言える。
 館内の設備に関する意見(閲覧席の少なさ、暗さ、狭さなど)
 →高齢者層からの要望が多かった。図書館でゆっくりと過ごしたいという方も多い。

【委員意見】

- ・南館20周年記念事業について、7月から色々と実施されてきたが、このアンケートまで時間があつたので、未回答が多かったという理由もあるのではないかと思った。このアンケート上で未回答が多く、満足度が低めであっても、各事業について失敗という印象はない。
- ・職員の対応が良いというのは、利用していても実感するし、喜ばしい。
- ・職員の対応の満足度を上げるというのはなかなか難しいのに、良い評価が出ているというのは素晴らしい。ただ、不満に思われている方が一定いるというのも事実である。他の項目もそうであるが、少数派の意見も拾って改善に繋げてほしい。
- ・読書環境に関する満足度について、去年から改善できたことや今後改善できそうなことはあるか。
 →回答、分析と合わせて改善案も検討中なので、次回に詳細を御報告したい。
- ・質問の仕方ですぐ得られるデータは変わるかと思う。次年度は、こちらが何を知りたいか明確に定めて、設問に工夫を行ってほしい。
- ・開館時間の不満について、限られた予算内で利用者の声を全て反映することは難しいと思うが、寄せられた意見から、多くの利用者が利用しやすい時間帯等も合わせて分析してほしい。
- ・Webでの回答の割合や、Web関連の質問の多さ、視聴覚資料のニーズなど、図書以外のサービスへの注目が高まっていることを感じた。
- ・回答者がどちらの館の利用者か分かる方が今後の分析につながりやすいのではないかと。特に館内の読書環境などはどちらの館のことを言っているのかで対策が変わってくるだろう。

(2) 令和5年度の図書館運営および事業計画について

【全体概要】

令和4年度の予算から、令和5年度は約8,300万円予算の増。(2館合計で約1億5,000万円→約2億3,300万円)うち5,000万円は「読書のまち推進費」に起因するもの。

それ以外でも、約3,000万円が増額されている。その内訳としては、図書館の施設の劣化にともなう改修の設計委託費や工事費といった維持管理分が約2,000万円、昨今の光熱水費の大幅値上げが約1,000万となっている。また、職員の人件費に関して、最低賃金の上昇で約300万円の増となっている。

サービス面については、社会情勢を鑑みながら、引き続き新型コロナウイルス感染症対策も講じつつ、これまでの図書館サービスを維持していく。移動図書館のステーションは令和4年度に見直しを行い27箇所になったが、概ね好評で令和5年度も引き続き運行する。その中でも、キラリエ草津のステーションが好評である。

【読書のまち推進事業】

令和5年度が本館の40周年にあたることから取り組むものである。

また、昨年9月の総合教育会議にて、子どもたちの「不読率」が上昇している問題や、読書と健康寿命の関係について活発な議論があったこともあり、約5,300万円の予算が計上されている。

その内訳は以下の通りである。

○40周年記念事業（1,532千円）

40周年記念セレモニー、記念講演会（対象年代別に3回予定）、デザインコンテストの作品活用

○絵本等リニューアル事業（9,935千円）

貸出回数が150回以上の児童書のリニューアルする計画（約5,000冊）

老朽化している書架、ブックトラック、マット等の更新

○読書ポイント事業（1,720千円）

市内の全小中学生のうち、図書館の貸出券を持っていない児童・生徒に貸出券を作成。

市内小中学校でポイント台紙を発行配布し、貸出に応じてスタンプを集めてもらう。

小中学生が本に接する機会が減っている子どもたちに1冊でも触れてもらう機会をつくるのが狙い。

学校図書館・市内図書館共通で実施し、借りる楽しみを提供する。

○移動図書館事業（7,158千円）

現在運行している移動図書館車「わかくさ号」とは別に、軽トラックをベースにした小型の移動図書館車で、市内の小学校を巡回、約500冊を積み込む予定。

自分では図書館に来館することが難しい子どもたちにも、図書館サービスを提供したい。

○読書スペース事業（20,675千円）

本館の図書館と道路の間の植栽部分を整えて、開放的な空間を設ける。その箇所に椅子や机を設置して、本を読むことが出来る空間を作る。

館内の読書スペースを増やすことは難しいが、テラスのような場所をイメージし、施設の読書環境の充実をはかる。

防犯カメラの設置など安全面の配慮も同時にすすめる。

○学習スペース事業（4,227千円）

様々な人が学習できるスペースを設置し、生涯学習施設としての図書館をこれまで利用していなかった層の利用を見込む。

本館の会議室1（現在は新聞閲覧室として利用）、南館のフェリエ南草津5階多目的広場で実施予定。

○図書館効率化事業（1,705千円）

図書館のアプリを導入する。スマートフォンで使うことを想定しており、貸出カードを電子化できる。

鞆から財布を探す、財布から貸出カードを探すという時間の短縮や、貸出券忘れの減少が見込まれ、利用者負担の軽減、貸出窓口の混雑緩和などが期待できる。

○就学前施設連携事業（3,566千円）

市内の幼保こども園等の支援（民間、公立問わず）として、団体貸出の周知に再度力を入れる。

団体貸出用の絵本の購入のほか、本の選び方、読み方など司書から保育士へ研修の場を設ける

○学校支援事業（2,500千円）

教育総務課・学校と連携した学校図書館の充実をはかる。

通常予算とは別の令和5年度限定の予算ではあるが、限られた人材、予算の中で、本館の40周年記念事業にとどまらず、「読書のまち推進事業」として設定している。

図書館としては、「さらに、市民のための図書館へ」の実現に向けて取り組んでいく。

3. 意見交換・質疑

●全体について

- ・令和4年度の予算が、2館合計で1億5,000万円程度だったということで、施設管理費も含めてこの額で良く運営できているなど感心した。
- ・令和5年度は本館の40周年ということもあり、やっと草津市において、図書館にスポットが当たったのかなという気がして、わくわくしている。市長が健幸都市を掲げる中で読書環境の整備などにも着目されている意思も感じた。
- ・令和5年限りではあるが、予算が大きく増額ということは、職員にとって運営が大変なことが多々出てくると思うが、我々協議会もその一端を担うつもりで考えていきたい。
- ・児童向け事業、というと実は年齢層が幅広い。児童向けの行事は必ず保護者もセットでついてくるので、可能な限り細やかな年齢設定をするほうが、より効果的で、参加者も参加しやすいのではないかと。

●40周年記念事業について

- ・行事の時だけでなく、来年度は1年中ずっと「今年の本館40周年」ということをアピールし続けてほしい。
- ・南館のアンケート結果の反省も生かし、事業の周知にInstagramをもっと活用してほしい。行事の準備段階の様子から裏側を見せるなどはどうか。同じ内容の投稿を複数回してもいいと思う。決まった情報だけを流すというのではもったいない。SNSを業務として扱うのは大変であるが、地道に投稿数を増やすことは効果的だと思う。
- ・他県の図書館の周年記念事業では、ファンミーティングというのをされていた。図書館好きの利用者が集まって館長と意見交換をするというもの。「ファンミーティング」なので、利用者の意見（声）をアンケート以外で直接収集できる貴重な場となっていた。そういった機会を持つのはどうか。
- ・デザインコンテストのグランプリ受賞者だけでなく、応募者にも可能な限り図書館の行事に御招待するとか、作品を展示するとか、応募してよかったと思うような経験や思い出の提供をして、図書館を好きになってもらえるチャンスを増やす工夫はどうか。
- ・「思い出の本 紹介しませんか」の企画について、市長や教育長、市議会議員の皆さんにも書いてもらってほしい。草津市全体を巻き込んで盛り上げる取り組みをしてはどうか。
- ・講演会について、会場とWeb受講のハイブリットも近年は多くなっており、図書館でも、Webを利用した講演会やイベントはどうか。
- ・令和4年度の、南館で実施したけんご氏の講演会は、中高生実行委員が主体となって作り上げた点が印象的でよかった。周年記念事業も、他課、市民、学生を巻き込んで作っていく企画をどんどんやってほしい。利用者のアイデアを取り入れることも良いのではないかと。「自分たちの図書館」だということが意識づけられると思う。

●読書ポイント事業について

- ・読書ポイントを小中学生が貯めていくと何か景品があるのか。
→予算化はできていないが、地域の協力を得られないかなど模索中。ゆくゆくは、地域文庫や子ども食堂とも連携して、市内全域で読書をする楽しみを提供したい。
- ・移動図書館事業（学校を巡回する移動図書館）と連携して読書ポイント事業をすすめるのは良い。
→次年度以降は地域文庫や子ども文庫等にも協力を依頼していきたいと考えている。

●図書館効率化事業について

- ・アプリさえスマホにインストールしておけば、ふらっと立ち寄れるという気持ちになれるような、図書館へ行くハードルを下げるツールとして、図書館アプリの導入は良いと思った。
- ・「来店ポイント」のような感じのポイントが反映されると、ゲーム感覚で来館のきっかけにもなり、楽しんでもらえるのではないかな。
- ・中学生以上はほとんどスマホを使っていると思うが、カードの利用券の発行を減らしていくという今後の見通しなのか。
→アプリについては、利用券を作成していただいたうえで、そのカードのバーコードをアプリ内でも使えるという仕組みであり、カードをなくす予定はない。アプリの導入時期は夏頃を目指している。
- ・アプリをインストールすると、開館日カレンダーや自分の利用情報等も確認できるということか。
→そういった機能も実装する予定である。

●読書スペース事業について

- ・読書スペースを作って終わりではなく、「積ん読」になっている本を持ち寄って読む会のようなイベントやその読書後に、そのスペースでビブリオバトルを実施するなどをして、来館してもらうきっかけづくりはどうか。
- ・屋外ということをきっかけづくりに利用して、キッチンカーを呼ぶなどで集客をできないか。
- ・公共施設でそういったスペースを設けるということで、「本を読まずに利用している人がいる」「喋り声がうるさい」などの声も予想され難しいことはあると思うが、館内の読書スペースを広げるのは難しい中、植栽スペースを整備してオープンテラスのように活用するのは良い取組で成功させてほしい。

●学習スペース事業について

- ・自習にしか利用できないのか。また、利用者は限定されるのか。
→広い意味で「学習スペース」としているのでも、図書館の姿勢としては勉強に使っていただいても、読書をしていただいても良いと考えている。今まで図書館に興味が無かった層にも利用していただきたいということをポイントとしている。
- ・事業名称だけ聞いた印象では学生の勉強の場所ができると捉えられそうなので、コンセプトまで周知していく必要があるだろう。
- ・学習のスペースが不足しているというのは町中で見かける。子どもの学習スペース、学習支援の輪というのも図書館だけでなく市全体の課題として考えていきたい。

●就学前施設連携事業について

- ・保育士を育成していく中で、読み聞かせは課題と感じているので、スキルを広めていただけるのはありがたいと感じる。
→具体的なことはこれから、幼児課と連携しながら検討していく。講習会を開催するような形をイメージしている。資料現物の補助としては、季節行事の絵本、定番の絵本の強化をして貸し出すことを予定している。

●その他

- ・市の他課と連携したコラボ展示をもっと利用者にも市職員にもアピールしてほしい。
→令和5年度はすでに多数の課からコラボ展示の依頼が来ている。他課との連携は年々充実しているのではないかと手ごたえを感じている。
- ・40年前に草津市に図書館が出来た時のことや図書館での思い出を利用者に振り返ってもらう動画な

どを作成するのはどうか。

- ・40周年では難しいかもしれないが、今後50周年にむけて、利用カードのデザインを、例えばまちづくり協議会と連携して地域ごとに変えるなど「利用者登録してカードを持つ楽しみ」を提供すると楽しいのではないか。

4. その他連絡事項

【事務局より】

- ・周年記念デザインコンテストの結果報告
- ・今後の図書館行事予定についてのスケジュール案内
- ・次回の協議会は令和5年度の6月下旬から7月初旬を予定

(終了 午後12時00分)